

「倫理」年間指導計画にもとづく評価規準例

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評 価 規 準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート・小論文 ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返り	ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返り	
第1編 第1章	人間の心のあり方	4月	5	<ul style="list-style-type: none"> 人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて理解し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について、適切な知識を習得している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて多面的・多角的に考察し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について、思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて自分自身に関連づけて捉え、他者と共によりよく生きるあり方を主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて理解し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高める。
	1節 人間とは何か	4月	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 人間の特質や「考えること」の意義、青年期の位置づけや特徴、現代社会におけるその特質について理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の特質や「考えること」の意義、青年期の位置づけや特徴、現代社会におけるその特質について多面的・多角的に考察し、自己のあり方について他者とのかかわりの中で思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の特質や「考えること」の意義、青年期の位置づけや特徴、現代社会におけるその特質について自分自身に関連づけて捉え、他者と共によりよく生きるあり方を主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人間の特質や「考えること」の意義、青年期の位置づけや特徴、現代社会におけるその特質について理解し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高める。
	1 人間の特質			<ul style="list-style-type: none"> 人間の特質や「考えること」の意義、さまざまな人間の定義や先哲の考え方を的確に理解し、自己のあり方について、他者とのかかわりの中で問い続けることの意義を理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の特質に関する歴史的な考察の営みを手掛かりとして、人間について多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間とは何かという原理的な問題を考察することに関心をもち、自己のあり方について、人間の存在や価値に関わる普遍的な課題に関連づけて、他者とのかかわりの中で主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人間の定義について考えたうえで、パスカルの言葉を手掛かりに「考えること」の意義について考察する。 ○自己のあり方について、他者とのかかわりの中で問い続けることの意義について考察する。
	2 青年期の課題			<ul style="list-style-type: none"> 青年期の位置づけや特徴、現代社会におけるその特質について、「公共」の学習内容や、青年心理学などの知見にもとづいて客観的に理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 青年期の位置づけや特徴、現代社会におけるその特質について、自らの体験にもとづくと同時に、他者の体験を共有して考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己と他の青年がおかれた状況について自分自身の課題として捉え、人生における青年期の位置づけや特徴、現代社会におけるその特質について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「公共」の学習内容や、自己をふくむ青年がおかれた現在の状況をふまえ、人生における青年期の位置づけや特徴、現代社会におけるその特質について考察する。
	2節 人間の心の働き	4月	(3)	<ul style="list-style-type: none"> 認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて理解し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について、適切な知識を習得している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて多面的・多角的に考察し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について、思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて自分自身に関連づけて捉え、他者と共によりよく生きるあり方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて理解し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高める。
	1 認知			<ul style="list-style-type: none"> 知覚、学習、記憶、推論、問題解決という、人間の知的な活動の特徴について心理学の考え方を理解し、他者と共によりよく生きる意思決定のあり方について、適切な知識を習得している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の知的な活動の特徴について、知覚、学習、記憶、推論、問題解決という視点から、多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の知的な活動の特徴について、知覚、学習、記憶、推論、問題解決という視点から、自分自身に関連づけて捉え、他者と共によりよく生きる意思決定のあり方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○知覚、学習、記憶、推論、問題解決という、人間の知的な活動の特徴について理解することを通じて、他者と共によりよく生きる意思決定のあり方について考察する。
	2 感情と個性			<ul style="list-style-type: none"> 感情の生起や動機づけについて、心理学の考え方を理解している。 人間の個性について、類型論と特性論を中心に理解し、自己や他者の個性を理解するために必要な知識を習得している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の基本的な感情の種類について、それがどのようにして生起し、行動の動機づけにつながっているのか、多面的・多角的に考察している。 人間の個性について、類型論と特性論を中心に多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の基本的な感情の種類について、それがどのようにして生起し、行動の動機づけにつながっているのか、自分自身に関連づけて捉え、主体的に探究している。 人間の個性について、類型論と特性論を中心に自分自身に関連づけて捉え、他者と共によりよく生きる事ができるように、自己や他者の個性について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○感情の生起や動機づけに関する心理学の考え方を理解し、人間の個性について類型論と特性論を中心に理解することを通じて、他者と共によりよく生きることができるよう、自己や他者の個性について考察する。
	3 発達			<ul style="list-style-type: none"> 青年期までの発達と青年期以降の発達について、心理学の考え方を理解し、人間の心の発達が他者との相互作用の中で育っていくことを理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 青年期までの発達と青年期以降の発達について、多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 青年期までの発達と青年期以降の発達について、自分自身に関連づけて捉え、人間の心の発達がどのようにして他者との相互作用の中で育っていくのか、主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○青年期までの発達と青年期以降の発達について、心理学の考え方を理解し、人間の心の発達がどのようにして他者との相互作用の中で育っていくのかについて考察する。
	思考と対話 「心」をめぐる	4月	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 人間の心の働きについて、これまで学んだ考え方やその他の考え方・資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の性格の形成について、これまで学んだ人間の心の働きと関連づけて多面的・多角的に考察し、思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の性格について主体的に理解しようと努め、これまで学んだ人間の心の働きについて自分自身の性格の形成と関連づけて主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○第1章の学習にもとづいて、自分自身の性格について理解し、人間の心の働きについて自分自身の性格の形成と関連づけて考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高める。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート・小論文 ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	
第1編 第2章	さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	5~9月	21	・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国の思想、人生における宗教や芸術の意義について理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国の思想、宗教や芸術に見られるさまざまな人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国の思想、宗教や芸術の見られるさまざまな人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国の思想、人生における宗教や芸術の意義について理解し、さまざまな人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
1節	哲学すること	5月	(1)	・「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について理解している。 ・教科書記載のコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について、多面的・多角的に考察し、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて主体的に探究している。	○さまざまな人生観・倫理観・世界観の学習に先立って、「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について理解し、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて思索する。
1	人間と哲学			・「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について理解している。 ・教科書記載のコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について、多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて主体的に探究している。	○さまざまな人生観・倫理観・世界観の学習に先立って、「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について理解する。
2節	ギリシャの思想	5月	(5)	・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想における人生観・倫理観・世界観について理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想における人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察し、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想における人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想における人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
1	哲学の誕生と自然哲学			・ギリシャにおける哲学の誕生について、その歴史的背景とともに理解している。 ・真理や存在などに着目して、自然哲学の思想にみられる自然と人間とのかかわりや、世界を捉える知の在り方について理解している。 ・教科書記載のコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・ギリシャにおける哲学の誕生について、その歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察している。 ・真理や存在などに着目して、自然哲学の思想にみられる自然と人間とのかかわりや、世界を捉える知の在り方について多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・ギリシャにおける哲学の誕生について、その歴史的背景をふまえて主体的に探究している。 ・真理や存在などに着目して、自然哲学の思想にみられる自然と人間とのかかわりや、世界を捉える知の在り方について主体的に探究している。	○ギリシャにおける哲学の誕生について、その歴史的背景をふまえて考察する。 ○真理や存在などに着目して、自然哲学の思想にみられる自然と人間とのかかわりや、世界を捉える知の在り方について多面的・多角的に考察する。
2	ソクラテスとソフィスト			・徳、真理、正義、義務、幸福などに着目して、ソフィストの活動や思想の特徴、ソクラテスの生涯や思想について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・徳、真理、正義、義務、幸福などに着目して、ソフィストの活動や思想の特徴、ソクラテスの生涯や思想について多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・徳、真理、正義、義務、幸福などに着目して、ソフィストの活動や思想の特徴、ソクラテスの生涯や思想を手がかりに、自己の在り方生き方について主体的に探究している。	○徳、真理、正義、義務、幸福などに着目して、ソフィストの活動や思想の特徴、ソクラテスの生涯や思想について多面的・多角的に考察することを通じて、自己の在り方生き方について思索する。
3	プラトン			・真理、存在、善、正義、愛、美、徳、義務などに着目して、プラトンのイデア論や哲人政治などの思想について理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・真理、存在、善、正義、愛、美、徳、義務などに着目して、プラトンのイデア論や哲人政治などの思想について多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・真理、存在、善、正義、愛、美、徳、義務などに着目して、プラトンのイデア論や哲人政治などの思想を手がかりに、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○真理、存在、善、正義、愛、美、徳、義務などに着目して、プラトンのイデア論や哲人政治などの思想について多面的・多角的に考察することを通じて、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
4	アリストテレス			・自然、真理、存在、幸福、徳、善、正義、義務、愛などに着目して、アリストテレスの自然観、倫理思想、社会観、政治論などの思想について理解している。 ・教科書記載のコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・自然、真理、存在、幸福、徳、善、正義、義務、愛などに着目して、アリストテレスの自然観、倫理思想、社会観、政治論などの思想について多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・自然、真理、存在、幸福、徳、善、正義、義務、愛などに着目して、アリストテレスの自然観、倫理思想、社会観、政治論などの思想を手がかりに、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○自然、真理、存在、幸福、徳、善、正義、義務、愛などに着目して、アリストテレスの自然観、倫理思想、社会観、政治論などの思想について多面的・多角的に考察することを通じて、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
5	ヘレニズム・ローマ時代の思想			・真理、存在、幸福、などに着目して、エピクロス派とストア派、懐疑派と新プラトン主義の思想について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・真理、存在、幸福、などに着目して、エピクロス派とストア派、懐疑派と新プラトン主義の思想について多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・真理、存在、幸福、などに着目して、エピクロス派とストア派、懐疑派と新プラトン主義の思想を手がかりに、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○真理、存在、幸福、などに着目して、エピクロス派とストア派、懐疑派と新プラトン主義の思想について多面的・多角的に考察することを通じて、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート・小論文 ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	
3節 宗教と社会	6月	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。 	
1 集団的な現象としての宗教			<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について、デュルケームなど先哲の考え方や歴史的な事実を手がかりに理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について、多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について、デュルケームなど先哲の考え方や歴史的な事実を手がかりに多面的・多角的に考察する。 	
4節 キリスト教	6月	(3)	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教における人生観・倫理観・世界観について理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教における人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察し、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教における人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教における人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。 	
1 『旧約聖書』の倫理			<ul style="list-style-type: none"> 幸福、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教の成立に影響を与えた古代ユダヤ教の特徴や『旧約聖書』に見られる人生観・倫理観・世界観について理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教の成立に影響を与えた古代ユダヤ教の特徴や『旧約聖書』に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教の成立に影響を与えた古代ユダヤ教の特徴や『旧約聖書』に見られる人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教の成立に影響を与えた古代ユダヤ教の特徴や『旧約聖書』に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察する。 	
2 イエスの教え			<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、正義、義務、真理などに着目して、イエスの説いた神の特徴や愛の教えについて理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、正義、義務、真理などに着目して、イエスの説いた神の特徴や愛の教えについて、ギリシャ思想における愛の思想と比較したりしながら多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、正義、義務、真理などに着目して、イエスの説いた神の特徴や愛の教えを手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、正義、義務、真理などに着目して、イエスの説いた神の特徴や愛の教えについて、ギリシャ思想における愛の思想と比較したりしながら多面的・多角的に考察する。 	
3 キリスト教の展開			<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教の成立と発展についての歴史的理解に基づいて、パウロの思想や教父哲学、スコラ哲学に見られる人生観・倫理観・世界観について理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、パウロの思想や教父哲学、スコラ哲学に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、パウロの思想や教父哲学、スコラ哲学に見られる人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教の成立と発展についての歴史的理解に基づいて、パウロの思想や教父哲学、スコラ哲学に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察する。 	
5節 イスラーム	6月	(2)	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、イスラームの教えに見られる人生観・倫理観・世界観について理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、イスラームの教えに見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、イスラームの教えに見られる人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、イスラームの教えに見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。 	
1 ムハンマドとイスラームの教え			<ul style="list-style-type: none"> イスラームの誕生について、ムハンマドの生涯や歴史的背景とともに理解している。 幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、『クルアーン』に見られる人生観・倫理観・世界観について理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> イスラームの誕生について、ムハンマドの生涯や歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察している。 幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、『クルアーン』に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> イスラームの誕生について、ムハンマドの生涯や歴史的背景をふまえて主体的に探究している。 幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、『クルアーン』に見られる人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> イスラームの誕生について、ムハンマドの生涯や歴史的背景をふまえて考察する。 幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、『クルアーン』に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察する。 	

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート・小論文 ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	
2	イスラームの展開			・イスラーム世界の拡大やイスラーム文化の展開について、歴史的背景とともに理解している。 ・幸福、善、正義、義務などに着目して、現代におけるイスラームの在り方やムスリムの社会規範・生活規範について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・イスラーム世界の拡大やイスラーム文化の展開について、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察している。 ・幸福、善、正義、義務などに着目して、現代におけるイスラームの在り方やムスリムの社会規範・生活規範について多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・イスラーム世界の拡大やイスラーム文化の展開について、歴史的背景をふまえて主体的に探究している。 ・幸福、善、正義、義務などに着目して、現代におけるイスラームの在り方やムスリムの社会規範・生活規範を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○イスラーム世界の拡大やイスラーム文化の展開について、歴史的背景をふまえて考察する。 ○幸福、善、正義、義務などに着目して、現代におけるイスラームの在り方やムスリムの社会規範・生活規範について多面的・多角的に考察する。
6節	仏教	6~7月	(3)	・幸福、愛、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、インドで生まれた仏教に見られる人生観・倫理観・世界観について理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、インドで生まれた仏教に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、愛、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、インドで生まれた仏教に見られる人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○幸福、愛、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、インドで生まれた仏教に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
1	古代インドの思想	6~7月		・幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、仏教の成立に影響を与えたバラモン教の特徴、ウパニシャッド哲学やジャイナ教に見られる人生観・倫理観・世界観について理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、仏教の成立に影響を与えたバラモン教の特徴、ウパニシャッド哲学やジャイナ教に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、仏教の成立に影響を与えたバラモン教の特徴、ウパニシャッド哲学やジャイナ教に見られる人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、仏教の成立に影響を与えたバラモン教の特徴、ウパニシャッド哲学やジャイナ教に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察する。
2	ブッダの思想			・幸福、愛、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ブッダの説いた苦の認識や縁起の法、慈悲の実践について理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ブッダの説いた苦の認識や縁起の法、慈悲の実践について多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、愛、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ブッダの説いた苦の認識や縁起の法、慈悲の実践を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○幸福、愛、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ブッダの説いた苦の認識や縁起の法、慈悲の実践について多面的・多角的に考察する。
3	仏教の展開			・部派仏教や大乘仏教の成立、仏教の伝播について、歴史的背景とともに理解している。 ・幸福、愛、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、部派仏教の特徴や、大乘仏教の特徴・諸思想について理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・部派仏教や大乘仏教の成立、仏教の伝播について、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察している。 ・幸福、愛、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、部派仏教の特徴や、大乘仏教の特徴、空の思想や唯識の思想について多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・部派仏教や大乘仏教の成立、仏教の伝播について、歴史的背景をふまえて主体的に探究している。 ・幸福、愛、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、部派仏教の特徴や、大乘仏教の特徴、空の思想や唯識の思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○部派仏教や大乘仏教の成立、仏教の伝播について、歴史的背景をふまえて考察する。 ○幸福、愛、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、部派仏教の特徴や、大乘仏教の特徴・諸思想について多面的・多角的に考察する。
7節	中国の思想	7月	(3)	・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、古代からの中国の伝統思想に見られる人生観・倫理観・世界観について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、古代からの中国の伝統思想に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、古代からの中国の伝統思想に見られる人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、古代からの中国の伝統思想に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
1	孔子と儒家の思想			・諸子百家の代表的な思想について、歴史的背景とともに理解している。 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理などに着目して、孔子の思想に見られる人生観・倫理観・世界観について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・諸子百家の代表的な思想について、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察している。 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理などに着目して、孔子の思想に見られる人生観・倫理観・世界観について、儒家と墨家の思想を比較したりして、多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・諸子百家の代表的な思想について、歴史的背景をふまえて主体的に探究している。 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理などに着目して、孔子の思想に見られる人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○諸子百家の代表的な思想について、歴史的背景をふまえて考察する。 ○幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理などに着目して、孔子の思想に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察する。
2	儒教の展開			・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、孟子や荀子、韓非子、朱子学と陽明学の思想の特徴について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、孟子や荀子、韓非子、朱子学と陽明学の思想について、それぞれの思想を比較したりして、多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、孟子や荀子、韓非子、朱子学と陽明学の思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、孟子や荀子、韓非子、朱子学と陽明学の思想について多面的・多角的に考察する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート・小論文 ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	
3	老荘思想			・幸福、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、老子や荘子の思想や、道家の思想の特徴について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、老子や荘子の思想や、道家の思想の特徴について、儒家思想と比較したりして、多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、老子や荘子に代表される道家の思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○幸福、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、老子や荘子の思想や、道家の思想の特徴について多面的・多角的に考察する。
8節	芸術	7月	(1)	・幸福、愛、徳、真理、存在などに着目して、美を求め心や、それが人生を豊かにするものであること、芸術とは何か、芸術が人生や社会に与える影響はどのようなものかについて理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、徳、真理、存在などに着目して、美を求め心や、それが人生を豊かにするものであること、芸術とは何か、芸術が人生や社会に与える影響はどのようなものかについて、芸術家の考え方や生き方、作品を手がかりに多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、愛、徳、真理、存在などに着目して、自分自身の内面にも美を求め心があること、それが人生を豊かにするものであること、芸術とは何か、芸術が人生や社会に与える影響はどのようなものかについて、芸術家の考え方や生き方、作品を手がかりに、主体的に探究している。	○幸福、愛、徳、真理、存在などに着目して、美を求め心や、それが人生を豊かにするものであること、芸術とは何か、芸術が人生や社会に与える影響はどのようなものかについて、芸術家の考え方や生き方、作品を手がかりに多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
1	美の発見と芸術の創造・鑑賞			・幸福、愛、徳、真理、存在などに着目して、美を求め心や、それが人生を豊かにするものであること、芸術とは何かについて、カントやグールドの考え方を手がかりに理解し、また、芸術作品と鑑賞者の関係について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、徳、真理、存在などに着目して、美を求め心や、それが人生を豊かにするものであること、芸術とは何かについて、また、芸術作品と鑑賞者の関係について、芸術家の考え方や生き方、作品を手がかりに多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、愛、徳、真理、存在などに着目して、自分自身の内面にも美を求め心があること、それが人生を豊かにするものであること、芸術とは何かについて、また、芸術家と鑑賞者の関係について、芸術家の考え方や生き方、作品を手がかりに、主体的に探究している。	○幸福、愛、徳、真理、存在などに着目して、美を求め心や、それが人生を豊かにするものであること、芸術とは何か、芸術作品と鑑賞者の関係について、芸術家の考え方や生き方、作品を手がかりに多面的・多角的に考察する。
2	芸術と社会			・幸福、愛、徳、真理、存在などに着目して、芸術が人生や社会に与える影響について、イメージの支配やソーシャル・エンゲイジド・アートの実践などを手がかりに理解している。 ・教科書記載のコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、徳、真理、存在などに着目して、芸術が人生や社会に与える影響はどのようなものかについて、イメージの支配やソーシャル・エンゲイジド・アートの実践などを手がかりに多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、愛、徳、真理、存在などに着目して、芸術が人生や社会に与える影響はどのようなものかについて、イメージの支配やソーシャル・エンゲイジド・アートの実践などの具体例を主体的に調べて探究している。	○幸福、愛、徳、真理、存在などに着目して、芸術が人生や社会に与える影響はどのようなものかについて、多面的・多角的に考察する。
	思考と対話 「幸福」をめぐって	9月	(1)	・幸福な人生のあり方についてこれまで学んだ思想やその他の思想・資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福な人生のあり方について、新たな問いを立てたり、これまで学んだ思想やその他の思想・資料から多面的・多角的に考察したりして、思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福な人生のあり方について、新たな問いを立てたり、これまで学んだ思想やその他の思想・資料から多面的・多角的に考察したりして、主体的に探究している。	○第2章の学習にもとづいて、幸福な人生のあり方について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高める。
	思考と対話 「愛」をめぐって	9月	(1)	・愛とは何かについて、これまで学んだ思想やその他の思想・資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・愛とは何かについて、自ら思想家を一人選んでその原典資料を調べたりして、多面的・多角的に考察し思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・愛とは何かについて、新たな問いを立てたり、自ら思想家を一人選んでその原典資料を調べたりして、多面的・多角的に考察し主体的に探究している。	○第2章の学習にもとづいて、愛とは何かについて多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高める。
第1編 第3章	さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	9~11月	21	・幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想について理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
	1節 近代と人間尊重の精神	9月	(2)	・西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景とともに理解している。 ・幸福、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想の特徴について理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察している。 ・幸福、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景をふまえて主体的に探究している。 ・幸福、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景をふまえて考察する。 ○幸福、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート・小論文 ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	
1	人間主体の時代			<ul style="list-style-type: none"> 西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景とともに理解している。 幸福、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想の特徴について理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察している。 幸福、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想について多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景をふまえて主体的に探究している。 幸福、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景をふまえて考察する。 幸福、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想について多面的・多角的に考察する。
2	節 近代思想の展開	9月	(3)	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた経験論や合理論、社会契約説、啓蒙主義に関する諸思想の特徴について理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた経験論や合理論、社会契約説、啓蒙主義に関する諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた経験論や合理論、社会契約説、啓蒙主義に関する諸思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた経験論や合理論、社会契約説、啓蒙主義に関する諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
1	新しい学問の方法			<ul style="list-style-type: none"> 幸福、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたベーコンとデカルトの思想の特徴について理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたベーコンとデカルトの思想について、両者の共通点と相違点に留意しつつ多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたベーコンとデカルトの思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたベーコンとデカルトの思想について、両者の共通点と相違点に留意しつつ多面的・多角的に考察する。
2	経験論と合理論の対話			<ul style="list-style-type: none"> 真理、存在などに着目して、経験論と合理論の代表的な思想について理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 真理、存在などに着目して、経験論と合理論の代表的な思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 真理、存在などに着目して、経験論と合理論の代表的な思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 真理、存在などに着目して、経験論と合理論の代表的な思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や世界の在り方について思索する。
3	社会契約説			<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務などに着目して、現代の価値観に影響を与えた社会契約説や自然法思想、啓蒙主義に関する代表的な思想について、歴史的背景とともに理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務などに着目して、現代の価値観に影響を与えた社会契約説や自然法思想、啓蒙主義に関する代表的な思想について、ホッブズ、ロック、ルソーの思想の共通点と相違点に留意しつつ多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務などに着目して、現代の価値観に影響を与えた社会契約説や自然法思想、啓蒙主義に関する代表的な思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務などに着目して、現代の価値観に影響を与えた社会契約説や自然法思想、啓蒙主義に関する代表的な思想について、ホッブズ、ロック、ルソーの思想の共通点と相違点に留意しつつ多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について思索する。
3	節 人格の尊厳と人倫の思想	10月	(2)	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、カントとヘーゲルの思想に見られる、近代における人間と近代社会の在り方について理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、カントとヘーゲルの思想に見られる、近代における人間と近代社会の在り方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、カントとヘーゲルの思想に見られる、近代における人間と近代社会の在り方についての考え方を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、カントとヘーゲルの思想に見られる、近代における人間と近代社会の在り方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
1	カントー人格の尊厳			<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、カントの批判哲学、認識論、道徳思想、人格の尊厳の思想、理想的な社会の構想について理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、カントの批判哲学、認識論、道徳思想、人格の尊厳の思想、理想的な社会の構想について多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、カントの批判哲学、認識論、道徳思想、人格の尊厳の思想、理想的な社会の構想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、カントの批判哲学、認識論、道徳思想、人格の尊厳の思想、理想的な社会の構想について多面的・多角的に考察する。
2	ヘーゲルー人倫の思想			<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ヘーゲルの弁証法、歴史観、自由と人倫の思想、社会や国家の考え方について理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ヘーゲルの弁証法、歴史観、自由と人倫の思想、社会や国家の考え方について、カントの自由や道徳に関する考え方と比較したりしながら多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ヘーゲルの弁証法、歴史観、自由と人倫の思想、社会や国家の考え方を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ヘーゲルの弁証法、歴史観、自由と人倫の思想、社会や国家の考え方について、カントの自由や道徳に関する考え方と比較したりしながら多面的・多角的に考察する。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート・小論文 ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	
4節	社会変革の思想	10月	(3)	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた近代の社会変革の思想について、歴史的背景とともに理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた近代の社会変革の思想について、現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた近代の社会変革の思想を手がかりに、現代の社会生活と関連付けながら、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた近代の社会変革の思想について、現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
1	功利主義と幸福			<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務などに着目して、アダム・スミス、ベンサム、J.S.ミルの倫理思想について、歴史的背景とともに理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務などに着目して、アダム・スミスの説く共感、ベンサムとJ.S.ミルの功利主義思想の特徴、J.S.ミルの説く他者危害の原則について、現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務などに着目して、アダム・スミス、ベンサム、J.S.ミルの倫理思想を手がかりに、現代の社会生活と関連付けながら、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務などに着目して、アダム・スミス、ベンサム、J.S.ミルの倫理思想について、現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察する。
2	社会主義思想			<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた社会主義思想について、マルクスの思想を中心に、その形成と影響や展開を含めて、歴史的背景とともに理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた社会主義思想について、現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた社会主義思想を手がかりに、現代の社会生活と関連付けながら、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、自由、正義、義務、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた社会主義思想について、現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察する。
3	社会の進歩と実証的思想			<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、正義、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた実証主義や進化論の考え方の特徴、プラグマティズムの思想について、それが生まれた歴史的背景とともに理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、正義、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた実証主義や進化論の考え方、プラグマティズムの思想について、現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、正義、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた実証主義や進化論の考え方、プラグマティズムの思想を手がかりに、現代の社会生活と関連付けながら、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、善、正義、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた実証主義や進化論の考え方、プラグマティズムの思想について、現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察する。
5節	理性への疑念	10月	(2)	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、自由、義務、真理、存在などに着目して、キルケゴール、ニーチェ、フロイトの思想について、近代の理性中心のあり方への批判という観点から理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、自由、義務、真理、存在などに着目して、キルケゴール、ニーチェ、フロイトの思想を手がかりに、近代の人間観や世界観がどのように変容したかについて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、自由、義務、真理、存在などに着目して、キルケゴール、ニーチェ、フロイトの思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、自由、義務、真理、存在などに着目して、キルケゴール、ニーチェ、フロイトの思想を手がかりに、近代の人間観や世界観がどのように変容したかについて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
1	世界をとらえる知のあり方の変容			<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、自由、義務、真理、存在などに着目して、キルケゴール、ニーチェ、フロイトの思想について、近代の理性中心のあり方への批判という観点から理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、自由、義務、真理、存在などに着目して、キルケゴール、ニーチェ、フロイトの思想を手がかりに、近代の人間観や世界観がどのように変容したかについて多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、自由、義務、真理、存在などに着目して、キルケゴール、ニーチェ、フロイトの思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、自由、義務、真理、存在などに着目して、キルケゴール、ニーチェ、フロイトの思想を手がかりに、近代の人間観や世界観がどのように変容したかについて多面的・多角的に考察する。
6節	人間観・言語観の問いなおし	11月	(3)	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、20世紀以降の諸思想について、従来の人間観や世界観、言語観がどのように問いなおされたかという観点から理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、20世紀以降の諸思想を手がかりに、従来の人間観や世界観、言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、20世紀以降の諸思想による人間観や世界観、言語観の問いなおしを手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、20世紀以降の諸思想を手がかりに、従来の人間観や世界観、言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
1	存在への問い			<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ハイデッガー、ヤスパース、サルトルの思想や、現象学、実存主義の特徴について、従来の人間観や世界観がどのように問いなおされたかという観点から理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ハイデッガー、ヤスパース、サルトルの思想や、現象学、実存主義の考え方を手がかりに、従来の人間観や世界観の問いなおしについて多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ハイデッガー、ヤスパース、サルトルの思想や、現象学、実存主義による人間観や世界観の問いなおしを手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ハイデッガー、ヤスパース、サルトルの思想や、現象学、実存主義の考え方を手がかりに、従来の人間観や世界観の問いなおしについて多面的・多角的に考察する。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート・小論文 ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	
2	新たな知の枠組み			・幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ソシュール、レヴィ=ストロース、フーコーの思想について、従来の人間観や世界観、言語観がどのように問いなおされたかという観点から理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ソシュール、レヴィ=ストロース、フーコーの思想を手がかりに、従来の人間観や世界観、言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ソシュール、レヴィ=ストロース、フーコーの思想による人間観や世界観、言語観の問いなおしを手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ソシュール、レヴィ=ストロース、フーコーの思想を手がかりに、従来の人間観や世界観、言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察する。
3	現代思想の展開			・幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ドゥルーズ、デリダ、ポストモダンの思想について、従来の人間観や世界観、言語観がどのように問いなおされたかという観点から理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ドゥルーズ、デリダ、ポストモダンの思想を手がかりに、従来の人間観や世界観、言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ドゥルーズ、デリダ、ポストモダンの思想による人間観や世界観、言語観の問いなおしを手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ドゥルーズ、デリダ、ポストモダンの思想を手がかりに、従来の人間観や世界観、言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察する。
7節	他者・自然とのかかわり	11月	(3)	・幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、さまざまな人物や宗教が他者や自然とのかかわりについてどのように考えたか理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、他者や自然とのかかわりについて、さまざまな人物や宗教の考え方を手がかりに多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、さまざまな人物や宗教の考え方を手がかりに、自分自身が他者や自然とどのようにかかわるべきかについて主体的に探究している。	○幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、他者や自然とのかかわりについて、さまざまな人物や宗教の考え方を手がかりに多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
1	他者と言語			・幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、レヴィナス、ベンヤミン、アーレント、フランクフルト学派、ウィトゲンシュタインが他者とのかかわりや言語活動についてどのように考えたか理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、他者とのかかわりや言語活動について、レヴィナス、ベンヤミン、アーレント、フランクフルト学派、ウィトゲンシュタインの考え方を手がかりに多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、レヴィナス、ベンヤミン、アーレント、フランクフルト学派、ウィトゲンシュタインの考え方を手がかりに、自分自身が他者とのどのようにかかわるべきかについて主体的に探究している。	○幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、他者とのかかわりや言語活動について、レヴィナス、ベンヤミン、アーレント、フランクフルト学派、ウィトゲンシュタインの考え方を手がかりに多面的・多角的に考察する。
2	民主社会の成熟のために			・幸福、愛、善、自由、正義、義務などに着目して、ロールズやセン、リバタリアニズムとコミュニタリアニズムの考え方について、民主社会の成熟や公共性という観点から理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、善、自由、正義、義務などに着目して、民主社会の成熟や公共性の問題について、ロールズやセン、リバタリアニズムとコミュニタリアニズムの考え方を手がかりに多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、愛、善、自由、正義、義務などに着目して、ロールズやセン、リバタリアニズムとコミュニタリアニズムの考え方を手がかりに、民主社会の成熟や公共性の問題について主体的に探究している。	○幸福、愛、善、自由、正義、義務などに着目して、民主社会の成熟や公共性の問題について、ロールズやセン、リバタリアニズムとコミュニタリアニズムの考え方を手がかりに多面的・多角的に考察する。
3	社会参加と奉仕			・幸福、愛、善、自由、正義、義務などに着目して、マザー・テレサの活動やこれまで学習した社会参加の思想にもとづいて、人間の相互依存性やボランティアの意義について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、善、自由、正義、義務などに着目して、マザー・テレサの活動やこれまで学習した社会参加の思想を手がかりに人間の相互依存性やボランティアの意義について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、愛、善、自由、正義、義務などに着目して、マザー・テレサの活動やこれまで学習した社会参加の思想を手がかりに、自分自身の他者とのかかわりやボランティア活動の意義について主体的に探究している。	○幸福、愛、善、自由、正義、義務などに着目して、マザー・テレサの活動やこれまで学習した社会参加の思想を手がかりに人間の相互依存性やボランティアの意義について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について、自らの問題として思索する。
4	自然と人間とのかかわり			・幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ゲーテ、シュヴァイツァー、ベルクソン、その他の人物や宗教の自然観や、人間の自然とのかかわり方についての考え方を理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ゲーテ、シュヴァイツァー、ベルクソン、その他の人物や宗教の自然観を手がかりに、人間が自然をどのようにとらえ、どのように自然とかわるべきか、多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ゲーテ、シュヴァイツァー、ベルクソン、その他の人物や宗教の自然観を手がかりに、自分自身が自然をどのようにとらえ、どのように自然とかわるべきかについて主体的に探究している。	○幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ゲーテ、シュヴァイツァー、ベルクソン、その他の人物や宗教の自然観を手がかりに、人間が自然をどのようにとらえ、どのように自然とかわるべきか、多面的・多角的に考察する。
	思考と対話 「自由」をめぐる	11月	(1)	・「自由に生きること」について、これまで学んだ思想やその他の思想・資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・「自由に生きること」について、自由について思索した思想家の原典資料を読んだりして、思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・「自由に生きること」について、新たな問いを立てたり、自由について思索した思想家の原典資料を読んだりして、主体的に探究している。	○第3章の学習にもとづいて、「自由に生きること」について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高める。
	思考と対話 「正義」をめぐる	11月	(1)	・「なぜ、正しく生きべきなのか」について、これまで学んだ思想やその他の思想・資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・「なぜ、正しく生きべきなのか」について、正義について思索した思想家の原典資料を読んだりして、思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・「なぜ、正しく生きべきなのか」について、新たな問いを立てたり、正義について思索した思想家の原典資料を読んだりして、主体的に探究している。	○第2章や第3章の学習にもとづいて、「なぜ、正しく生きべきなのか」について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高める。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート・小論文 ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	
	思考と対話 「真理」をめぐる	11月	(1)	・「世界の始まり」や「真理」について、これまで学んだ思想やその他の思想・資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・「世界の始まり」や「真理」について、真理について思索した思想家の原典資料を読んだりして、思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・「世界の始まり」や「真理」について、新たな問いを立てたり、真理について思索した思想家の原典資料を読んだりして、主体的に探究している。	○第2章や第3章の学習にもとづいて、「世界の始まり」や「真理」について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高める。
第1編 第4章	国際社会に生きる日本人としての自覚	12～2月	17	・古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、日本の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手がかりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己とのかかわりにおいて理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想を手がかりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想を手がかりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。	○古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想について理解し、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
	1節 日本人の精神風土	12月	(2)	・日本人の伝統的な自然観、宗教観、倫理観の特質について、自己とのかかわりにおいて理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・日本人の伝統的な自然観、宗教観、倫理観の特質について、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・日本人の伝統的な自然観、宗教観、倫理観の特質について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。	○日本人の伝統的な自然観、宗教観、倫理観の特質について、自己とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
	1 日本人の自然観			・「おのずから」の働きや、『古事記』の記述、和辻哲郎の著作などの記述に着目しながら、日本人の伝統的な自然観について、自己とのかかわりにおいて理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・「おのずから」の働きや、『古事記』の記述、和辻哲郎の著作などの記述に着目しながら、日本人の伝統的な自然観の特質について、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・「おのずから」の働きや、『古事記』の記述、和辻哲郎の著作などの記述に着目しながら、日本人の伝統的な自然観の特質について、主体的に探究している。	○日本人の伝統的な自然観の特質について、「おのずから」の働きや、『古事記』・和辻哲郎の著作などの記述に着目しながら、自己とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について思索する。
	2 日本人の宗教観			・八百万神や「神々の共存」、「重層的文化」などの考え方に着目しながら、日本人の伝統的な宗教観について、自己とのかかわりにおいて理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・八百万神や「神々の共存」、「重層的文化」などの考え方に着目しながら、日本人の伝統的な宗教観の特質について、多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・八百万神や「神々の共存」、「重層的文化」などの考え方に着目しながら、日本人の伝統的な宗教観の特質について、主体的に探究している。	○日本人の伝統的な宗教観の特質について、八百万神や「神々の共存」、「重層的文化」などの考え方に着目しながら、自己とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察する。
	3 日本人の倫理観			・清き明き心、正直、誠、いさぎよさ、やさしさなどの考え方に着目しながら、日本人の伝統的な倫理観について、自己とのかかわりにおいて理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・清き明き心、正直、誠、いさぎよさ、やさしさなどの考え方に着目しながら、日本人の伝統的な倫理観の特質について、多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・清き明き心、正直、誠、いさぎよさ、やさしさなどの考え方に着目しながら、日本人の伝統的な倫理観の特質について、主体的に探究している。	○日本人の伝統的な倫理観の特質について、清き明き心、正直、誠、いさぎよさ、やさしさなどの考え方に着目しながら、自己とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察する。
	2節 仏教と日本人の思想形成	12月	(3)	・日本の古代史・中世史に関する基本的な理解にもとづき、古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、自己とのかかわりにおいて理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・日本の古代史・中世史に関する基本的な理解にもとづき、古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、主体的に探究している。	○日本の古代、中世の歴史に関する基本的な理解にもとづき、日本人は外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか、また、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、古来の自然や神に対する信仰との共存・重層という観点から自己とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
	1 仏教の受容			・古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、仏教の伝来と奈良仏教、平安仏教の展開、神仏習合の考え方を手がかりとして、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、仏教の伝来と奈良仏教、平安仏教の展開、神仏習合の考え方を手がかりとして、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、多面的・多角的に考察している。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、仏教の伝来と奈良仏教、平安仏教の展開、神仏習合の考え方を手がかりとして、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、主体的に探究している。	○日本の古代史に関する基本的な理解にもとづき、日本人は外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか、また、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、仏教の伝来と奈良仏教、平安仏教の展開、神仏習合の考え方を手がかりとして、古来の自然や神に対する信仰との共存・重層という観点から多面的・多角的に考察する。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート・小論文 ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	
2	仏教の日本的展開			<ul style="list-style-type: none"> 古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、浄土信仰、禅、『法華経』信仰を手がかりとして、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、浄土信仰、禅、『法華経』信仰を手がかりとして、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、浄土信仰、禅、『法華経』信仰を手がかりとして、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、主体的に探究している。 	○日本の中世史に関する基本的な理解にもとづき、日本人は外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか、また、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、浄土信仰、禅、『法華経』信仰を手がかりとして、古来の自然や神に対する信仰との共存・重層という観点から多面的・多角的に考察する。
3	仏教と日本文化			<ul style="list-style-type: none"> 古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、無常観や美意識に着目して、さまざまな古典作品や芸道・文化、評論などを手がかりに、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、自己との関わりにおいて理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、無常観や美意識に着目して、さまざまな古典作品や芸道・文化、評論などを手がかりに、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現し、その内容について振り返り、的確に自己評価し、反省することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、無常観や美意識に着目して、さまざまな古典作品や芸道・文化、評論などを手がかりに、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、主体的に探究している。 	○日本の伝統文化に関する基本的な理解にもとづき、日本人は外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか、また、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、無常観や美意識に着目して、さまざまな古典作品や芸道・文化、評論などを手がかりに、古来の自然や神に対する信仰との共存・重層という観点から自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察する。
3節	儒教と日本人の思想形成	12月	(2)	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら、自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら主体的に探究している。 	○日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、日本で独自に展開した儒教思想の特徴や、日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら自己とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
1	儒教の受容			<ul style="list-style-type: none"> 日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、現実秩序の倫理や礼秩序の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら、自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、現実秩序の倫理や礼秩序の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、現実秩序の倫理や礼秩序の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら主体的に探究している。 	○日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、日本で独自に展開した儒教思想の特徴や、日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、現実秩序の倫理や礼秩序の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら自己とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察する。
2	儒教の日本的展開			<ul style="list-style-type: none"> 日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、日本の陽明学や古学、古文辞学の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら、自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、日本の陽明学や古学、古文辞学の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、日本の陽明学や古学、古文辞学の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら主体的に探究している。 	○日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、日本で独自に展開した儒教思想の特徴や、日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、日本の陽明学や古学、古文辞学の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら自己とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察する。
4節	国学の思想	1月	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、国学の思想がその後の日本に及ぼした影響について、代表的な国学者の思想を手がかりとして、儒教や仏教の思想傾向と比較しながら、自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国学の思想がその後の日本に及ぼした影響について、代表的な国学者の思想を手がかりとして、儒教や仏教の思想傾向と比較しながら多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、国学の思想がその後の日本に及ぼした影響について、代表的な国学者の思想を手がかりとして、儒教や仏教の思想傾向と比較しながら主体的に探究している。 	○日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、国学が見出した人間像や、国学の思想がその後の日本に及ぼした影響について、代表的な国学者の思想を手がかりとして、儒教や仏教の思想傾向と比較しながら、自己とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。
1	国学の形成と展開			<ul style="list-style-type: none"> 国学の思想がその後の日本に及ぼした影響について、代表的な国学者の思想を手がかりとして、儒教や仏教の思想傾向と比較しながら、自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国学の思想がその後の日本に及ぼした影響について、代表的な国学者の思想を手がかりとして、儒教や仏教の思想傾向と比較しながら多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国学の思想がその後の日本に及ぼした影響について、代表的な国学者の思想を手がかりとして、儒教や仏教の思想傾向と比較しながら主体的に探究している。 	○日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、国学が見出した人間像や、国学の思想がその後の日本に及ぼした影響について、代表的な国学者の思想を手がかりとして、儒教や仏教の思想傾向と比較しながら、自己とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察する。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート・小論文 ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	
5節 庶民の思想	1月	(2)	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、庶民が考えた諸思想や、近代精神の形成や倒幕に至った幕末の思想的背景について、代表的な思想家の考え方を手がかりとして、現代の国際社会に生きる自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 庶民が考えた諸思想や、近代精神の形成や倒幕に至った幕末の思想的背景について、代表的な思想家の考え方を手がかりとして、現代の国際社会に生きる自己とのかかわりにおいて、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、庶民が考えた諸思想や、近代精神の形成や倒幕に至った幕末の思想的背景について、代表的な思想家の考え方を手がかりとして主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近世史、幕末史に関する基本的な理解にもとづき、為政者でない庶民が考えた諸思想や、近代精神の形成や倒幕に至った幕末の思想的背景について、代表的な思想家の考え方を手がかりとして、現代の国際社会に生きる自己とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。 	
1 庶民の思想の広がり			<ul style="list-style-type: none"> 町人や農民などの庶民が考えた諸思想について、代表的な思想家の考え方を手がかりとして、現代の国際社会に生きる自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 町人や農民などの庶民が考えた諸思想について、代表的な思想家の考え方を手がかりとして、現代の国際社会に生きる自己とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 町人や農民などの庶民が考えた諸思想について、代表的な思想家の考え方を手がかりとして主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、町人や農民などの庶民が考えた諸思想について、代表的な思想家の考え方を手がかりとして、現代の国際社会に生きる自己とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察する。 	
2 幕末の思想			<ul style="list-style-type: none"> 近代精神の形成や倒幕に至った幕末の思想的背景について、西洋文化との接触過程や日本の精神的基盤、代表的な思想家の考え方を手がかりとして、現代の国際社会に生きる自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 近代精神の形成や倒幕に至った幕末の思想的背景について、西洋文化との接触過程や日本の精神的基盤、代表的な思想家の考え方を手がかりとして、現代の国際社会に生きる自己とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 近代精神の形成や倒幕に至った幕末の思想的背景について、西洋文化との接触過程や日本の精神的基盤、代表的な思想家の考え方を手がかりとして主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近世史、幕末史に関する基本的な理解にもとづき、近代精神の形成や倒幕に至った幕末の思想的背景について、西洋文化との接触過程や日本の精神的基盤、代表的な思想家の考え方を手がかりとして、現代の国際社会に生きる自己とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察する。 	
6節 西洋思想と日本人の近代化	1~2月	(5)	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、日本人の近代における思想形成に影響を与えた人物や先哲の思想について、自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について、日本人の近代における思想形成に影響を与えた人物や先哲の思想に着目して、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について、日本人の近代における思想形成に影響を与えた人物や先哲の思想に着目して、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、日本人の近代における思想形成に影響を与えた近代の人物や先哲の思想に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。 	
1 近代化と啓蒙思想			<ul style="list-style-type: none"> 日本人の近代における思想形成に影響を与えた啓蒙思想や自由民権思想について、自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の近代における思想形成に影響を与えた啓蒙思想や自由民権思想に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の近代における思想形成に影響を与えた啓蒙思想や自由民権思想に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、日本人の近代における思想形成に影響を与えた啓蒙思想や自由民権思想に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察する。 	
2 キリスト教の受容			<ul style="list-style-type: none"> キリスト教を主体的に受容し広めた近代の人物の思想や在り方について、自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> キリスト教を主体的に受容し広めた人物の思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> キリスト教を主体的に受容し広めた人物の思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、キリスト教を主体的に受容し広めた近代の人物の思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察する。 	
3 社会思想の展開			<ul style="list-style-type: none"> 日本人の国家意識や社会思想の形成に影響を与えた人物の思想や在り方について、自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の国家意識や社会思想の形成に影響を与えた人物の思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の国家意識や社会思想の形成に影響を与えた人物の思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、日本人の国家意識や社会思想の形成に影響を与えた近代の人物の思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察する。 	
4 近代的な自己の追求			<ul style="list-style-type: none"> 近代的な自己の在り方について思索した文学者などの思想や在り方について、自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 近代的な自己の在り方について思索した文学者などの思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 近代的な自己の在り方について思索した文学者などの思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代史や文学史に関する基本的な理解にもとづき、近代的な自己の在り方について思索した近代の文学者などの思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察する。 	
5 近代日本の創造的な思想			<ul style="list-style-type: none"> 西洋思想を主体的に摂取しつつ東洋や日本の伝統的思想と対話させて独創的な新しい思想を形成した近代の人物の思想について、自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 西洋思想を主体的に摂取しつつ東洋や日本の伝統的思想と対話させて独創的な新しい思想を形成した近代の人物の思想に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 西洋思想を主体的に摂取しつつ東洋や日本の伝統的思想と対話させて独創的な新しい思想を形成した近代の人物の思想に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、西洋思想を主体的に摂取しつつ東洋や日本の伝統的思想と対話させて独創的な新しい思想を形成した近代の人物の思想に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察する。 	

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート・小論文 ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習のふり返り	
7 節 国際社会に生きる日本人の自覚	2 月	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 高度経済成長やそれに続く低迷する日本経済にあって、改めて浮かび上がった日本人の在り方生き方の問題点や、グローバル化が進む現代において自覚的に受けつぐべきものや、今後問いなおすべき課題について、自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 高度経済成長やそれに続く低迷する日本経済にあって、改めて浮かび上がった日本人の在り方生き方の問題点や、グローバル化が進む現代において自覚的に受けつぐべきものや、今後問いなおすべき課題について、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第4章で学んだ伝統的な日本人の心情や考え方をふり返ったり、日本の戦後思想の動向を手がかりにしたりしながら、現代の国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第4章で学んだ伝統的な日本人の心情や考え方をふり返ったり、日本の戦後思想の動向を手がかりにしたりしながら、高度経済成長やそれに続く低迷する日本経済にあって、改めて浮かび上がった日本人の在り方生き方の問題点や、グローバル化が進む現代において自覚的に受けつぐべきものや、今後問いなおすべき課題について、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。 	
1 戦後思想の動向			<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦後の日本の社会状況に関する基本的な理解にもとづき、現代において自覚的に受けつぐべきものや、今後問いなおすべき課題について、自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代において自覚的に受けつぐべきものや、今後問いなおすべき課題について、多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦後の日本の社会状況に関する基本的な理解にもとづき、第4章で学んだ伝統的な日本人の心情や考え方をふり返ったり、日本の戦後思想の動向を手がかりにしたりしながら、現代の国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦後の日本の社会状況に関する基本的な理解にもとづき、第4章で学んだ伝統的な日本人の心情や考え方をふり返ったり、日本の戦後思想の動向を手がかりにしたりしながら、現代において自覚的に受けつぐべきものや、今後問いなおすべき課題について、多面的・多角的に考察する。 	
2 グローバル化と日本人			<ul style="list-style-type: none"> 世界の中で現在の日本が置かれているさまざまな状況をふまえて、高度経済成長やそれに続く低迷する日本経済にあって、改めて浮かび上がった日本人の在り方生き方の問題点について、自己とのかかわりにおいて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の中で現在の日本が置かれているさまざまな状況をふまえて、高度経済成長やそれに続く低迷する日本経済にあって、改めて浮かび上がった日本人の在り方生き方の問題点について、多面的・多角的に考察している。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の中で現在の日本が置かれているさまざまな状況をふまえて、これまでの学習をふり返りながら、高度経済成長やそれに続く低迷する日本経済にあって、改めて浮かび上がった日本人の在り方生き方の問題点について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の中で現在の日本が置かれているさまざまな状況をふまえて、これまでの学習をふり返りながら、高度経済成長やそれに続く低迷する日本経済にあって、改めて浮かび上がった日本人の在り方生き方の問題点について、多面的・多角的に考察する。 	
思考と対話 「日本人の心情」をめぐって	2 月	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 「おのずから」や「死」について、これまで学んだ思想やその他の思想・資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 別れ際の心の構えや別れ言葉について、「おのずから」や「死」について思索した思想家の原典資料を読んだりして、思索を深めている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 別れ際の心の構えや別れ言葉について、新たな問いを立てたり、「おのずから」や「死」について思索した思想家の原典資料を読んだりして、主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第4章の学習にもとづいて、日本人の心情をめぐって、別れ際の心の構えや別れ言葉に着目して、「おのずから」や「死」について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高める。 	
第2編	1 節 生命	2 月	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 第1編で学習した事項を基盤として、生命倫理に関する概念や現代の諸問題に着目して、「生きること」の意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1編で学習した事項を基盤として、生命倫理に関する概念や現代の諸問題に着目して、「生きること」の意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。 理解したこと、考察したことなどを、論拠を明確にして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書記載の探究課題や、自ら設定した「生命」に関する探究課題について、他者との対話をふまえて自らの探究をふり返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1編で学習した事項を基盤として、生命科学や医療技術の発達を踏まえ、生命の誕生、老いや病、生と死の問題などを通して、「生きることの意義」について思索する。
	2 節 自然	2 月	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 第1編で学習した事項を基盤として、自然に関する考え方や現代の環境問題、環境倫理に着目して、人間と自然との調和的な共存関係の意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1編で学習した事項を基盤として、自然に関する考え方や現代の環境問題、環境倫理に着目して、人間と自然との調和的な共存関係の意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。 理解したこと、考察したことなどを、論拠を明確にして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書記載の探究課題や、自ら設定した「自然」や「環境問題」に関する探究課題について、他者との対話をふまえて自らの探究をふり返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1編で学習した事項を基盤として、人間の生命が自然の生態系の中で、植物や他の動物との相互依存関係において維持されており、調和的な共存関係が大切であることについて思索する。
	3 節 科学技術	2 月	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 第1編で学習した事項を基盤として、近年の情報技術の高度化に着目して、AIなど先端科学技術の利用と人間生活や社会の在り方について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1編で学習した事項を基盤として、近年の情報技術の高度化に着目して、AIなど先端科学技術の利用と人間生活や社会の在り方について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。 理解したこと、考察したことなどを、論拠を明確にして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書記載の探究課題や、自ら設定した「情報技術」や「インターネット社会」、「AIの活用」に関する探究課題について、他者との対話をふまえて自らの探究をふり返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1編で学習した事項を基盤として、近年の飛躍的な情報技術の進展を踏まえ、AIをはじめとした先端科学技術の利用と人間生活や社会の在り方について思索する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート・小論文 ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表など) 学習のふり返り	ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表など) 学習のふり返り	
	4節 福祉	3月	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 第1編で学習した事項を基盤として、ケアの倫理やSDGsなどに着目して、さまざまな他者と協働、共生できる、だれにとっても住みやすい社会について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1編で学習した事項を基盤として、ケアの倫理やSDGsなどに着目して、さまざまな他者と協働、共生できる、だれにとっても住みやすい社会について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。 理解したこと、考察したことなどを、論拠を明確にして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書記載の探究課題や、自ら設定した「だれにとっても住みやすい社会」や「アフターコロナの世界」に関する探究課題について、他者との対話をふまえて自らの探究をふり返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。 	○第1編で学習した事項を基盤に、多様性を前提として、協働、ケア、共生の視点から、だれにとっても住みやすい社会について思索する。
	5節 文化と宗教	3月	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 第1編で学習した事項を基盤として、文化や宗教に関するさまざまな考え方や現在の状況に着目して、さまざまな文化や宗教を尊重し、共生する生き方や社会の在り方について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1編で学習した事項を基盤として、文化や宗教に関するさまざまな考え方や現在の状況に着目して、さまざまな文化や宗教を尊重し、共生する生き方や社会の在り方について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。 理解したこと、考察したことなどを、論拠を明確にして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書記載の探究課題や、自ら設定した「異なる文化や宗教との共生」に関する探究課題について、他者との対話をふまえて自らの探究をふり返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。 	○第1編で学習した事項を基盤に、文化や宗教が過去を継承する人類の知的遺産であることを踏まえ、それらを尊重し、異なる文化や宗教をもつ人々を理解し、共生に向けて思索する。
	6節 戦争と平和	3月	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 第1編で学習した事項を基盤として、20世紀以降の戦争や消費社会の在り方、「豊かさ」の意味などに着目して、人類全体の福祉の向上という視点から、平和な世界の実現について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。 教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1編で学習した事項を基盤として、20世紀以降の戦争や消費社会の在り方、「豊かさ」の意味などに着目して、人類全体の福祉の向上という視点から、平和な世界の実現について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。 理解したこと、考察したことなどを、論拠を明確にして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書記載の探究課題や、自ら設定した「平和な世界の実現」や「人類全体の福祉」に関する探究課題について、他者との対話をふまえて自らの探究をふり返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。 	○第1編で学習した事項を基盤に、人類全体の福祉の向上という視点から、平和な世界の実現について思索する。
定期テスト	1学期中間 1学期期末 2学期中間 2学期期末 3学期期末	5月 7月 10月 12月 3月		<ul style="list-style-type: none"> 用語や概念、思想の理解などに関する出題から、知識・技能の定着の実態を把握する。 (例)主として知識・理解の観点から50%の配分が出題、資料から読み取れる事柄に関して20%の配分が出題 	<ul style="list-style-type: none"> 論述問題などにより、思考・判断・表現能力を見る。 (例)主として思考・判断の観点から30%の配分が出題 		